

## 特別支援教育セミナーがありました

11月21日、本校において特別支援教育セミナーを開催しました。講師として、茨城大学教育学部教授の新井英靖氏をお招きし、「自立活動の授業づくり 実態把握から目標及び内容設定とその実践事例」というテーマで講演して頂きました。『自立活動の指導が、各教科等において育まれる資質・能力を支える役割を担っている』『各教科等の下支え』ということが、改めて確認できた内容でした。

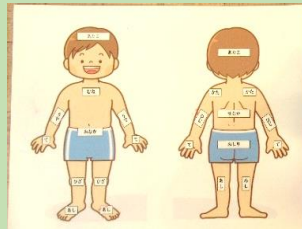
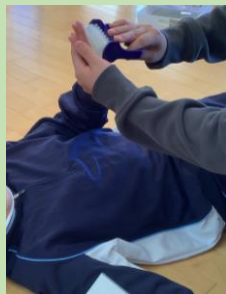
さて、本校で行われている自立活動の実践では、どのような力を培うことが目標とされているのか、実践例をご紹介します。

## 自立活動（時間における指導）実践紹介

### 題材名 「ボディイメージをつかもう」（小学部）

- 道具を使って体をたたいたり、こすったりする。
- 身体パズルを組み立てる。

- ・心地よいかかわりを知る
- ・他者からの働き掛けを受け止める
- ・自分の身体に対する意識を高める
- ・刺激（たたく、こする）の違いを知る
- ・ボディイメージ、感覚を通して得られる情報など、行動の手掛かりとなる概念を形成する



#### ○前後左右のバランス

- ・自分の体を基点とした位置や方向を知り、体を動かす。
- ・位置や方向など、行動の手掛かりとなる概念を形成する。
- ・様々な姿勢の保持や姿勢変換等の基本動作を習得する。



#### 指導内容の区分

心理的な安定 人間関係の形成 環境の把握 身体の動き

#### 目標とする力

- < 2 - (1) > 自分の心地よさを知る力
- < 3 - (1) > 他者からの働き掛けを受け入れる力
- < 4 - (4) > ・身体各部位を意識する力  
・自分を基点とした方向を理解する力
- < 4 - (5) > 身体部位や方向などを行動の手掛かりとする力
- < 5 - (1) > 姿勢保持や姿勢変換に対応する力

○指導計画

- 1 おもてなしの意味・内容・意見交換 (2時間)
- 2 衛生面 (2時間)
- 3 感情と表情 (2時間)
- 4 声の大きさ・トーン、話す速さ (2時間)
- 5 言葉遣いと気持ちの良い会話の仕方 (2時間)
- 6 まとめ・準備 (1時間)
- 7 リハーサル (2時間)
- 8 やってみよう! (2時間)

※一人一人の課題に迫る内容を組み合わせ、単元の内容を設定した。

※「おもてなし」という目的に向かって、一人一人が意欲的に学べるようにした。



「3 感情と表情」

- ・ まゆ、目、口のパーツを組み合わせ、感情に合わせた表情をつくる。(表情と感情の関連を捉える)
- ・ それぞれの表情が、他者にどのように受け止められるか考え、友達と意見を伝え合う。

「2 衛生面・清潔感」

- ・ ファッション雑誌を参考にして、清潔感を感じられる服装について考える。
- ・ 様々な服装や身だしなみが他者に与える印象について考える。

「4 声の大きさ・トーン、話す速さ」

- ・ 様々な話し方が他者に与える印象について考える。
- ・ ワークシートを使いながら、伝わりやすい話し方について考える。

理想の大人を目指そう! 月 日 ( )

【理想の大人は? (見た目)】

↓

こうなるために①      こうなるために②

【友達からのアドバイス】

【今日から頑張ること】

声のトーン・大きさ、話すはやすさ 月 日 ( )

自分の「声」を考えてみよう!

【声のトーン】

低い 0 1 2 3 4 5 高い

【声の大きさ】

小さい 0 1 2 3 4 5 大きい

【話す速さ】

ゆっくり 0 1 2 3 4 5 早口

どうすれば相手に聞こえやすくなるだろう?

どうすれば印象が良くなるだろう?

自分で頑張ってみること!

指導内容の区分	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	コミュニケーション	
目標とする力	< 1 - (1) >	相手からどのように見られているのかを推測し、清潔や衛生を心がける力			
	< 2 - (2) >	場所や場面の状況を理解し、服装を整えたり話し方を工夫したりする力			
	< 2 - (3) >	友達からのアドバイスを受け入れ、身なりや話し方を改善しようとする力			
	< 3 - (2) >	表情と感情を関連付けて捉える力			
	< 3 - (3) >	アドバイスを受け入れ、自分の行動について捉え、調整する力			
	< 6 - (3) >	自分の考えや気持ちを適切な表現で伝える力			